

5 花づくりのさかんなところ

①鳥取県の花づくりの特色

花をかざることで心にゆとりやゆたかさが生まれます。鳥取市の一家庭あたりの花を買う金額は全国でも8位と上位にあるので、鳥取県民は花が好きであることがわかります。

切り花の一世帯あたり年間購入金額
(全国県庁所在地および政令指定都市別ランキング)

県庁所在地 および政令指定都市	購入金額(円)	全国順位
福島市	14,311	第1位
仙台市	13,599	第2位
高松市	12,382	第3位
和歌山市	12,129	第4位
鹿児島市	12,083	第5位
山形市	11,549	第6位
盛岡市	11,502	第7位
鳥取市	11,293	第8位
新潟市	11,199	第9位
名古屋市	11,038	第10位
全国平均	9,122	—

[2013~2016年平均/総務省]



町にある花屋さん

花の消費が増えるにつれて、花づくりもさかんになってきました。

鳥取県でも花をつくる農家がふえ、県内をはじめ県外にも出荷しています。花を買う人たちに、鳥取県でつくっている花をよく知ってもらうために、農家の人たちで「とっとりの花」カレンダーをつくっています。

～「とっとりの花」カレンダー～



鳥取県ではいろいろな花がつくられています。

「北栄町，大山町のストック」

「北栄町，大山町，伯耆町の花だん苗」

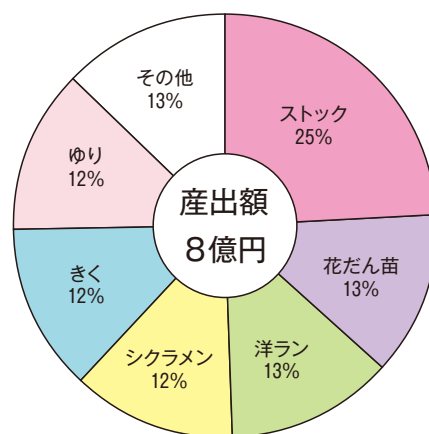
「米子市陰田地区のきく」

「八頭町，北栄町のゆり」

「智頭町のりんどう」

などは，その中でもとくに有名なものです。

鳥取県は「しば」の生産もさかんで，大山町，琴浦町，北栄町を中心に，約16億円の産出額(2015年)をあげています。



鳥取県の花の産出額
[2013年/鳥取県農林水産部]



琴浦町のしば畑

②クローズアップ！花づくり

とっとりけん 鳥取県の花だん苗

鳥取県は西日本有数の花だん苗産地です。おもに北栄町，大山町，琴浦町などで年間を通してさいばいされています。伯耆町や日南町では山間部のすずしい気候を生かして品質のよい苗がつくられています。また，北栄町や大山町では広い土地を生かして，たくさんの苗がさいばいされています。



大山町・濱田翔太さんとほ場



広い土地でのさいばいのようす
(大山町・三澤真琴さんのほ場)

北栄町のストック，ゆり

北栄町ではハウスを使ったすいかづくりがさかんです。6月にすいかをしゅうかくした後，そのハウスでストックやゆり（シンテッポウユリ），アスターなどをさいばいしています。鳥取県のストックさいばいは全国的にも有名で，県を代表する切り花です。



北栄町のストック



北栄町のシンテッポウユリ
(ハウスさいばい)

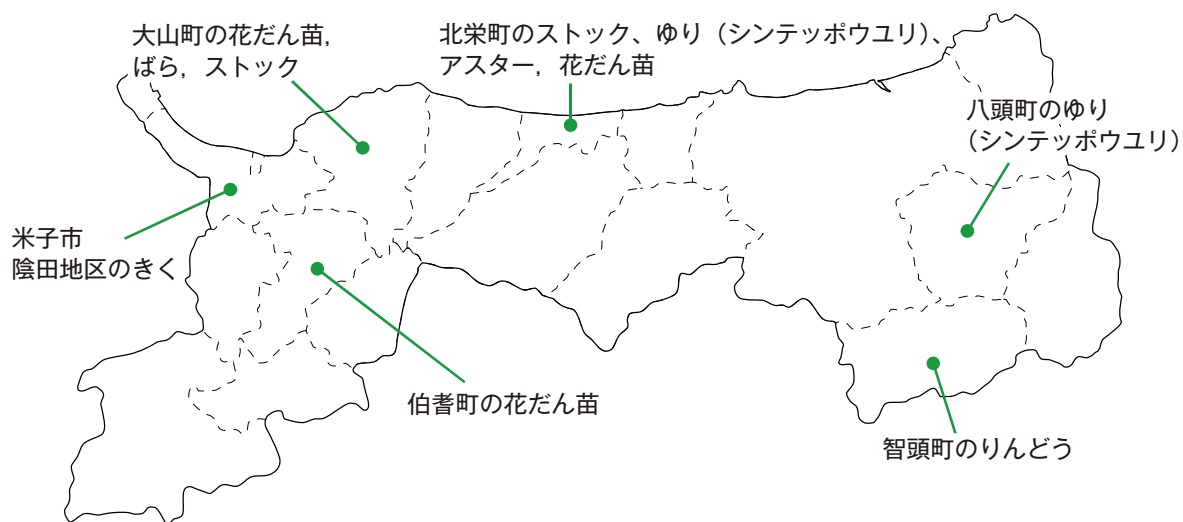
よなご いんだ
米子市陰田地区のきく

陰田の花づくりは、きくを中心に
50年以上の歴史があります。



大山町のばら

温室を利用してばらがつくられ、秋
から初夏にかけて出荷されています。



ちづ
智頭町のりんどう

すずしい気候を利用してさいばい
されています。



やす
八頭町のゆり

八頭町をはじめ水田転作として県
内各地でさいばいされています。

